

第38回水産庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成29年5月9日)

開催日及び場所			平成29年3月23(木)水産庁外国人応接室			
委員			鈴木 正勇(弁護士)(委員長代理) 副島 久実(水産大学校講師)			
審議対象期間			平成28年10月1日～平成28年12月31日			
審議対象案件			62件 うち、1者応札案件 5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件			
抽出案件			9 件 うち、1者応札案件3件 (抽出率14. 5%) (抽出率33. 3%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		1 件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約		該当なし		
	業務	一般競争		該当なし		
		指名競争	公募型競争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
			標準型プロポーザル		該当なし	
			その他の随意契約		該当なし	
	物品・役務等	一般競争		8 件 うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
		指名競争		該当なし		
		随意契約(企画競争・公募)		該当なし		
		随意契約(その他)		該当なし		
(特記事項)						
特になし						

	意見・質問		回答等	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	1. 平成28年度隠岐海峡地区マウンド礁ブロック製作(その4)工事			
	①隠岐海峡地区のブロック製作は何年までの計画か。		①平成31年までの計画となっている。	
	②企業の施工能力等過去に工事の経験があるかどうかで評価の点数が開いているが、新規企業も参入できるように緩和すべきでないか。		②そのような意見もあり、新規企業の参入について、平成28年の10月1日から過去に実績がなくても半分の加点をするなど改善したところ。	
	2. 平成28年度輸出重要種資源増大等実証委託事業			
	①入札公告はどういう形で周知しているか。		①水産庁のホームページへの掲載と庁内の掲示板に貼りだして周知している。専門性の高い事業であることから、結果1者応札となった。	
	②ナマコの育成手法の開発と養殖ホタテのへい死抑制調査の2つをセットで実施する理由は何か。		②どちらも輸出の重要品目で緊急性を要することから、2つをセットの事業とした。	
	3. 11月分北海道地区 軽油130KL			
	北海道地区で新たにバージ船を導入する業者はないということか。		現状ではない。1者応札改善のため、今後、軽油の積込地の変更を検討しているところ。	
	4. 船用品(薄口モンキーレンチ、外)の購入			
	非常に多岐にわたるものを一括して購入するプラスとマイナス面を検証し、今後どの範囲で一括購入するか検討すべきでないか。		今後検討する。	
	5. 主機関(MTU社製)部品の購入			
	(特になし)			
	6. (白竜丸)MF/HF無線通信装置(予備用)換装			
	可能であれば複数社から参考見積を取るべきでないか。		今後できる限り複数社から参考見積をとるようにする。	
	7.. (白嶺丸)レーダー換装業務			
	事業者に対するアンケートは、水産庁側から幾つかの業者にお願いするのか。		入札説明書を持って行った業者や役務業務が請け負えるであろう業者に対して、1者応札改善のためにアンケートを行っている。	
	8. 1月分東北地区 重油200KL			
	(特になし)			
	9. (開洋丸)主機関(ダイハツディーゼル製)部品の購入			
	この物品の購入についても、可能であれば複数社から参考見積を取るべきでないか。		今後できる限り複数社から参考見積をとるようにする。	

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	
〔これらに対し部局長が講じた措置〕		
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班		